

(令和2年10月30日変更)

令和2年度～令和4年度 店舗再編計画



伊豆太陽農業協同組合

目次

1. はじめに	P 1
2. 東部地区 8 J A 合併委員会について	P 2
3. 令和 2 年度以降の店舗再編について	P 3
4. 令和 2 年度店舗再編について	P 5
5. 令和 3 年度店舗再編について	P 7
6. 令和 4 年度店舗再編について	P 14
7. 再編に伴う取扱い事業の変遷	P 17
8. 収支予測	P 19
参考) 店舗再編の必要性について	P 20

令和 2 年 1 0 月 3 0 日 第 7 回 定 例 理 事 会 に て い つ 部 日 程 を 変 更 し ま し た 。

令和 3 年度店舗再編

稲生沢支店・稲梓支店の統合日を令和 3 年 9 月 2 5 日に変更。

令和 4 年度店舗再編

朝日支店及び田子支店の廃止日を令和 3 年 1 2 月 1 1 日に変更。

1. はじめに

当組合では、日銀のマイナス金利政策等により、今後さらに信連預金利息が減少するなか、少子高齢化による事業量減少により、共済事業についても収益が減少傾向にあります。これを踏まえ、平成30年度に金融移動店舗の導入による子店の廃止や、令和元年度には3支店の統合を行ってまいりました。

これまで当組合では、信用・共済事業の利益を原資に営農経済事業の赤字を補てんし、サービスを実施してまいりました。平成30年度においては、信用共済事業の事業利益は6億5千7百万円、営農経済その他事業の事業利益は▲5億4千7百万円となっています。

しかしながら、厳しい経営環境は依然として続いており、信連の預金利息は令和3年度に0.49%に下落し、平成30年度と比較し約3億円の収益減少となる見込みです。また、共済事業についても少子高齢化・人口減少により、毎年4%程度収益が減少しており、継続可能な事業実施態勢の構築に向けて更なる店舗再編が必要な状況です。併せて、赤字部門の営農経済事業についても改善を図っていく必要があります。

また、職員についても、少子高齢化や都心部の雇用環境が良化するなか、毎年20名程度減少している状況で、事業の維持が困難になっています。

さらに東部地区8JAにおいては、合併について検討を進めており、会長組合長会の取り決め事項を踏まえた店舗再編を進める必要があります。

2. 東部地区8JA合併委員会について

座談会等にて報告のとおり、令和元年7月に東部地区8JA合併委員会が設立し、合併について検討協議しています。

(1) 店舗再編の取り決め事項

- ・ 貯金残高100億円未満の店舗再編
- ・ 貯金残高100億円超で赤字店舗再編
- ・ 経済事業の収支改善
- ・ 不採算ATMの再編

(2) 役員並びに総代定数等（案）

- ・ 役員の数 は現在の4分の1程度
- ・ 総代の定数は800から1,000人程度

(3) 信連による再編計画策定依頼について

令和4年度から、新信用端末導入による店舗の大幅効率化が示されています。機器の購入及び維持コストが、1支店当り毎年5百万円程度増加する一方で、必要人員が減少するため、大型店舗になるほど効率化が図れます。これを踏まえ信連においては、貯金量100億円未満の店舗再編計画を本年度中に策定するよう依頼されています。

3. 令和2年度以降の店舗再編について

平成30年度の農業関連事業の事業利益は▲296百万円、生活その他事業は▲122百万円となっています。一方で、信用共済事業の収益が減少傾向にあり、赤字部門の収支改善は、必須事項です。

令和2年度以降の店舗再編について、金融店舗の統合による店舗再編と、営農経済事業の拠点化・効率化に取り組む内容となっています。

金融店舗の再編により、利用者のご負担を極力軽減するため、現在設置しているATMについてできる限り継続し、出向く体制を強化します。

また、ATMの無い店舗については、ひまわり号（金融移動店舗）の巡回路見直しを実施してまいります。（ATM設置個所についてはひまわり号は巡回しません）

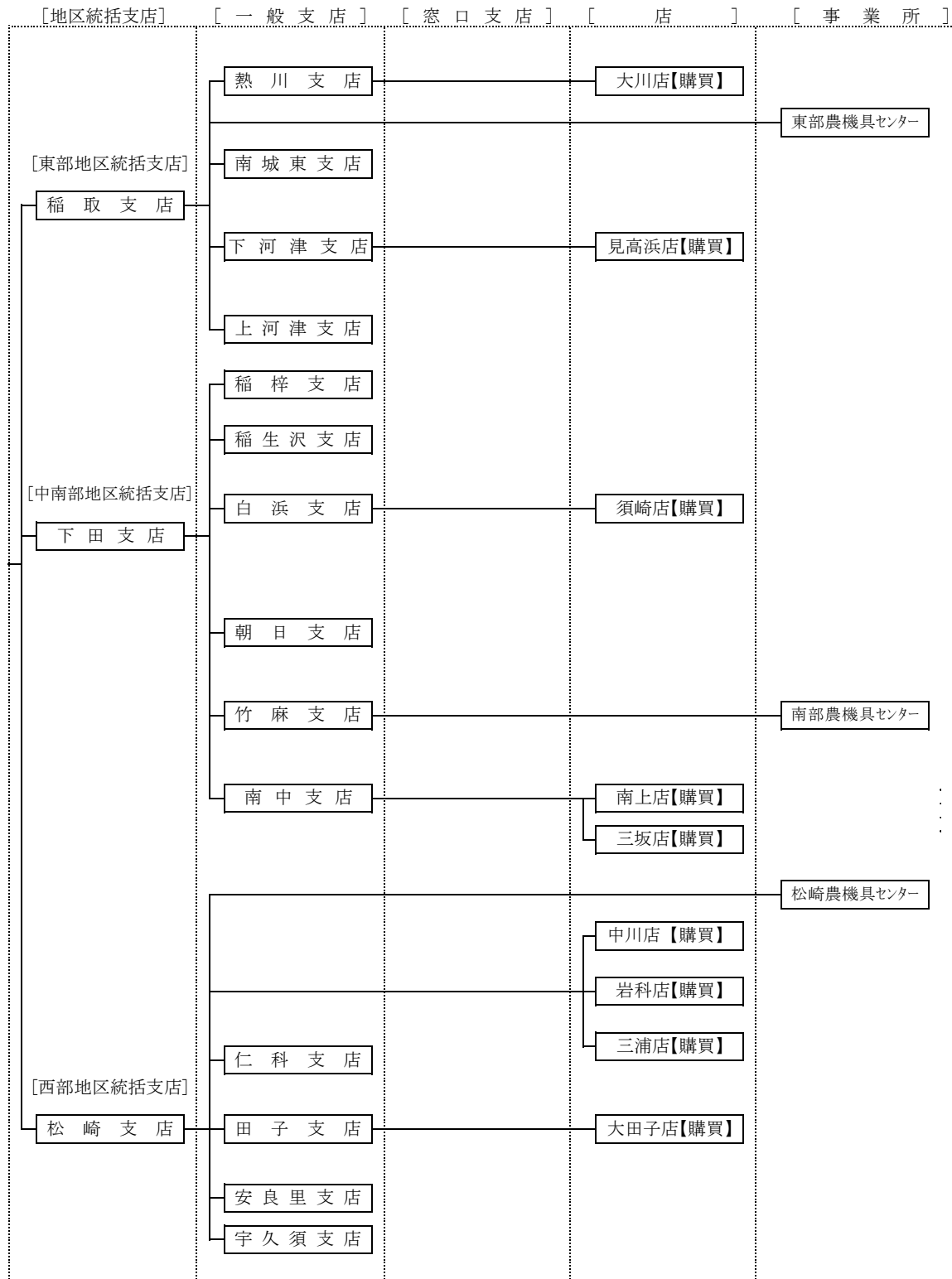
営農経済事業については、拠点化により生産資材の充実を図るとともに、土日祝日の営業など兼業農家のニーズに応える体制づくりと、配送体制の強化・充実により、農薬の配送も可能な体制を構築します。

なお、生活資材の取扱いは購買米を除き原則廃止します。（直売所・移動販売車は除く）

詳細は、年度別に次項から記載のとおりです。

機 構 図(支店・店・事業所)

平成31年4月1日現在



4. 令和2年度店舗再編について

(1) 窓口支店への変更

6支店を信用（貯金為替業務）、共済掛金収納、購買に機能制限した窓口支店に変更します。融資・共済業務は母店に集約します。

変更となる支店：南城東支店、上河津支店、稲梓支店、朝日支店、田子支店、安良里支店

(2) 購買店の営業日変更

購買店6店舗を隔日営業に変更します。

店舗名	営業日	休業日
大川店	月・水・第1、3金曜日	火・木・第2、4金曜日
見高浜店	火・木・第2、4金曜日	月・水・第1、3金曜日
須崎店	月・水・第1、3金曜日	火・木・第2、4金曜日
南上店	火・木・第2、4金曜日	月・水・第1、3金曜日
岩科店	月・水・第1、3金曜日	火・木・第2、4金曜日
三浦店	火・木・第2、4金曜日	月・水・第1、3金曜日

第5金曜日は休業します。

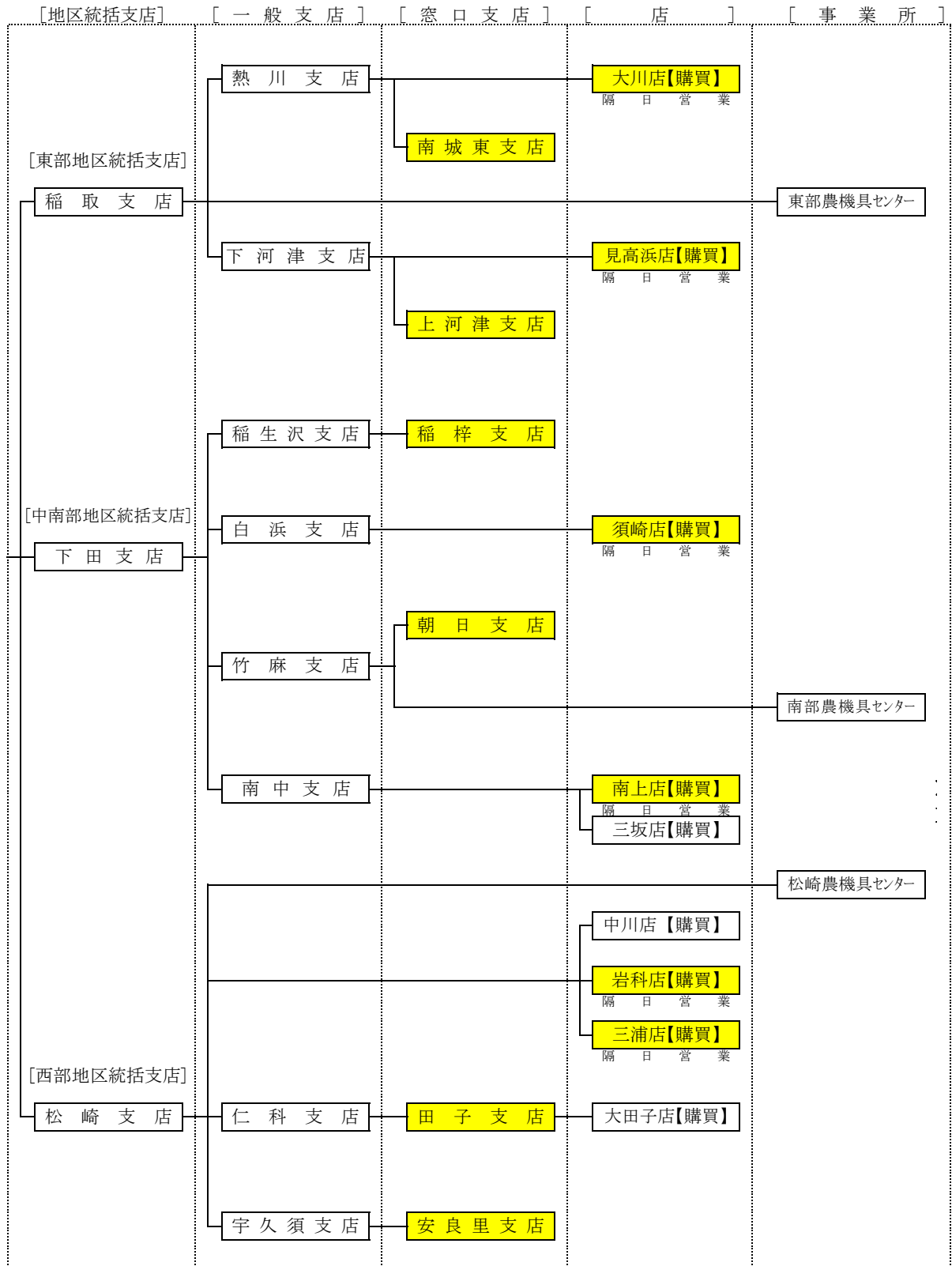
(3) ATM 営業日の変更

下記の店舗のATMについて、日曜祝日のATM取り扱いを開始します。

稲取支店、南城東支店、上河津支店、朝日支店、田子支店、安良里支店

機構図(支店・店・事業所)

令和2年4月1日変更



5. 令和3年度店舗再編について

(1) 支店の統廃合

4支店の統廃合を行います。

①熱川支店（熱川支店・南城東支店を統合）

熱川支店の敷地内に支店を建替えします。

営業内容：金融・共済・購買・販売（朝市）

②下河津支店（下河津支店・上河津支店を統合）

現在の下河津支店にて営業します。朝市は廃止します。

営業内容：金融・共済・購買（花卉集出荷場は東部営農経済センターにて運営）

③下田北支店（稲生沢支店、稲梓支店の統合）

今後伊豆縦貫道のアクセスにより利便性が高まる国道414号線沿いに移設します。（場所の選定から実施するため建設完了次第移転となります。）

営業内容：金融・共済・購買（農薬のみ一部取扱い）

④宇久須支店（宇久須支店、安良里支店の統合）

現在の宇久須支店にて営業します。

営業内容：金融・共済・購買・販売（朝市）

(2) 営農経済センター拠点化

営農経済事業のセンター拠点化により、収支改善を図るとともに出荷者の期待に応える店舗づくりを目指します。生活資材は、購買米を除き在庫等の取扱いを廃止します。

営農経済センターの営業日

営業日：土日祝日も営業（年末年始を除く）、配送は平日のみ

出先機関は、平日のみ営業します。（精米機のみ無休）

定休日：平日に1日（センターにより定休日は異なります）

①東部地区

名称：東部営農経済センター

場所：稲取支店併設（現在の東部営農センター）

・出先機関

東部配送センター、東部農機具センター：稲取支店敷地内では肥料や農薬をストック仕切れないことから、現行の施設を活用します。

熱川支店：朝市及び生産資材を取り扱います。（熱川と南城東の朝市を統合）

下河津支店：花卉集出荷場が併設されており、農薬・DBの需要や、稲梓地区からの需要もあることから、生産資材を取扱いします。

②中南部地区

名称：青市営農経済センター

場所：南伊豆町青市（現竹麻支店・花卉集出荷場を活用）

・出先機関

吉佐美農機具センター（新設、現朝日支店）：中部と南部農機は、各1名体制になっており、出張修理中等は留守にになってしまう事が多かったことから、集約し2名体制を構築します。（令和4年度から実施）

稲梓コイン精米（新設、稲梓地区）：現在の精米機は老朽化していることから、コイン精米機を設置します。

下田北支店：農薬を一部取扱いします。

③西部地区

名称：松崎営農経済センター

設置場所：松崎支店内（現西部営農センター及び松崎支店倉庫）

・出先機関

松崎配送センター（新設）：道部に西部地区の肥料農薬等配送拠点を設置

松崎農機具センター（移設）：道部に移設します。

中川コイン精米（新設）：中川の精米所を廃止し、コイン精米機を設置します。

(3) 事業及び施設の廃止

① 営農経済センター拠点化に伴う支店購買の廃止

各地区に営農経済センター拠点を設置し、支店の購買事業を廃止します。

購買事業廃止支店：稲取支店、竹麻支店、朝日支店、南中支店、松崎支店

② 購買店の廃止

各地区に営農経済センター拠点を設置し、購買店を廃止します。

廃止する購買店：大川店、見高浜店、須崎店、南上店、岩科店、三浦店、大田子店

③ 業務（施設）廃止

- ・ 柑橘第二共選場：現在共選場として利用していないため
- ・ 東部製茶工場：自家消費のお茶工場であり、毎年運用のために100万円以上の修繕が発生しているため、外注対応します。
- ・ 上河津堆肥センター：元々畜産農家のし尿処理のため建設したが、畜産農家は廃業し、動物園のし尿で堆肥を作っているため、外注（函南東部・富士宮酪農）にて対応します。
- ・ 稲梓・中川精米所：取扱量が少ないことから、供出米はJA伊豆の国ライスセンターを利用（伊豆太陽運送にて運搬）、自家用米はコイン精米機を設置

(4) 支店廃止後の対応について

①南城東支店

A T Mは、今まで通り営業します。

店舗等は、柑橘第二共選場の廃止に伴い、共選場資材の資材倉庫として活用し、女性部調理室は現状通りとします。

②上河津支店

A T Mは、今まで通り営業します。

店舗は、農産加工所が、現在の事務所兼店舗は借地であり施設も老朽化しており、また道路収用により駐車場等が狭くなるため、事務所を上河津支店へ移転し店舗販売は廃止します。加工及び集荷場は、山菜加工施設へ集約します。

③安良里支店

旧Aコープ安良里店は、現在サンフレッシュ安良里店が営業していますが、駐車場も狭いことから、建物を解体してA T Mコーナー及び駐車場として活用します。

(5) ひまわり号【金融移動店舗】の巡回路見直しについて

令和3年度以降は、来店者数の少ない見高入谷、縄地、田牛、南崎を廃止し、稲梓を週2回巡回致します。また、移動時間の関係上、湊を金曜日から木曜日、南上を木曜日から金曜日に変更致します。なお、令和4年度以降についても利用状況に応じて、見直しを随時行ってまいります。

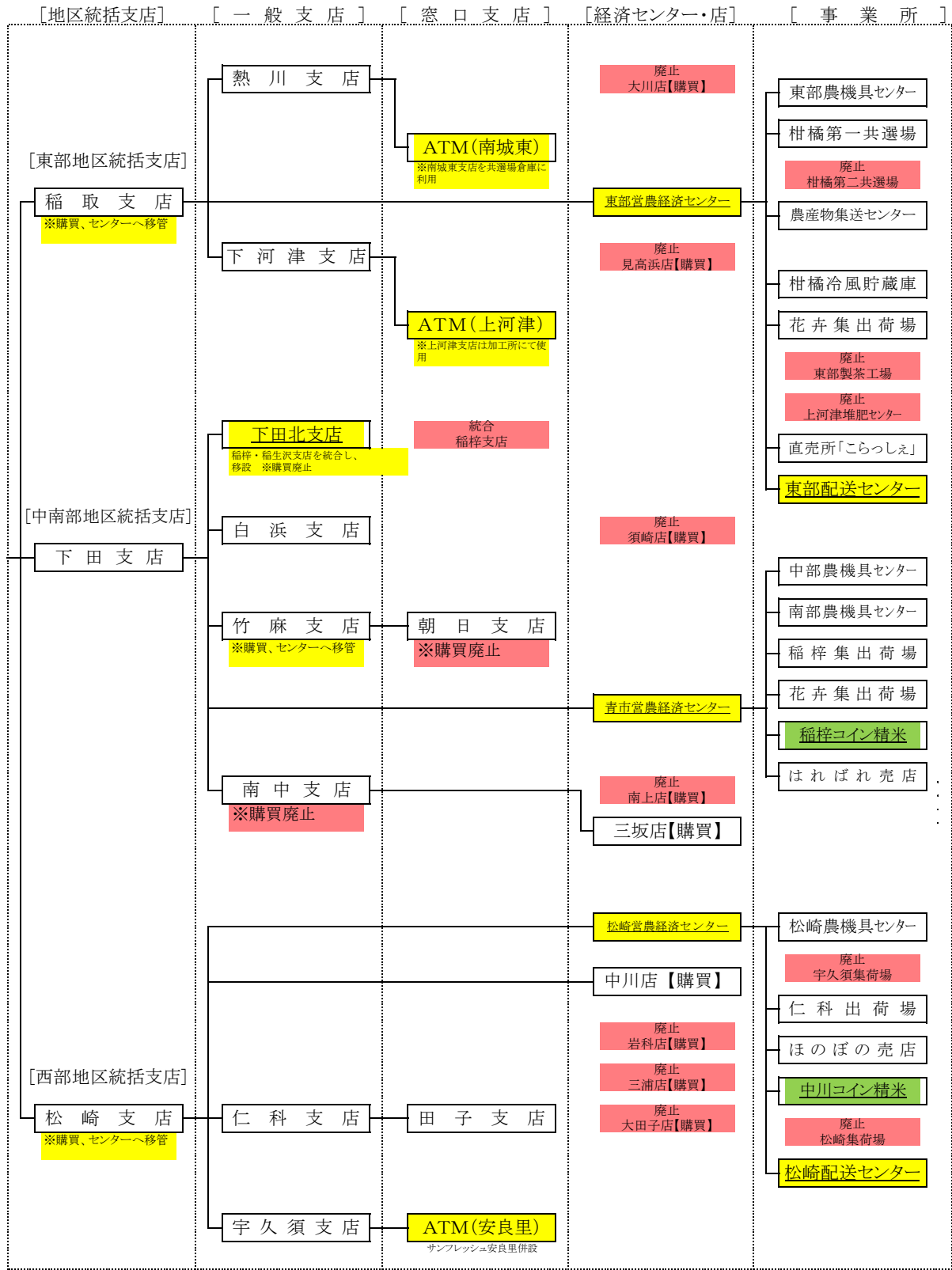
曜日	現 在			変更後		
	午前		午後	午前	午後	
月曜日	見高入谷	縄地	須崎	稲梓	須崎	
火曜日	大川		見高浜	大川	見高浜	
水曜日	岩科		三浦	岩科	三浦	
木曜日	田牛	南崎	南上	稲梓	湊（旧竹麻支店）	
金曜日	伊浜	三浜	湊（旧竹麻支店）	伊浜	三浜	南上

巡回場所別1日当たりの利用者数

場所	件数	場所	件数
大川	21.1	南崎	5.4
見高浜	9.1	湊	7.8
見高入谷	3.2	伊浜	7.4
縄地	2.5	三浜	8.8
須崎	15.3	岩科	10.6
田牛	3.2	三浦	7.5
南上	5.6		

機 構 図(支店・店・事業所)

令和3年4月1日変更



※下田北支店は、農薬のみ取扱。 コイン精米は機構図には記載しません。

6. 令和4年度店舗再編について

(1) 支店の統廃合

2支店の統廃合を行います。

・竹麻支店（竹麻支店、朝日支店の統合）

現在の竹麻支店にて営業します。

営業内容：金融・共済（購買・はればれ売店は中南部営農経済センターにて運営）

・仁科支店（仁科支店、田子支店の統合）

現在の仁科支店にて営業します。

営業内容：金融・共済

(2) 事業及び施設の廃止

① 営農経済センター拠点化に伴う支店購買の廃止

各地区に営農経済センター拠点を設置し、支店の購買事業を廃止します。

購買事業廃止支店：白浜支店、仁科支店、宇久須支店

② 購買店の廃止

各地区に営農経済センター拠点を設置し、購買店を廃止します。

廃止する購買店：三坂店、中川店

(3) 支店廃止後の対応について

①朝日支店

A T Mは、今まで通り営業します。

店舗は、中部と南部農機は、各1名体制になっており、出張修理中等は留守にになってしまう事が多かったことから、2名体制の吉佐美農機具センターに移転・改装します。

②田子支店

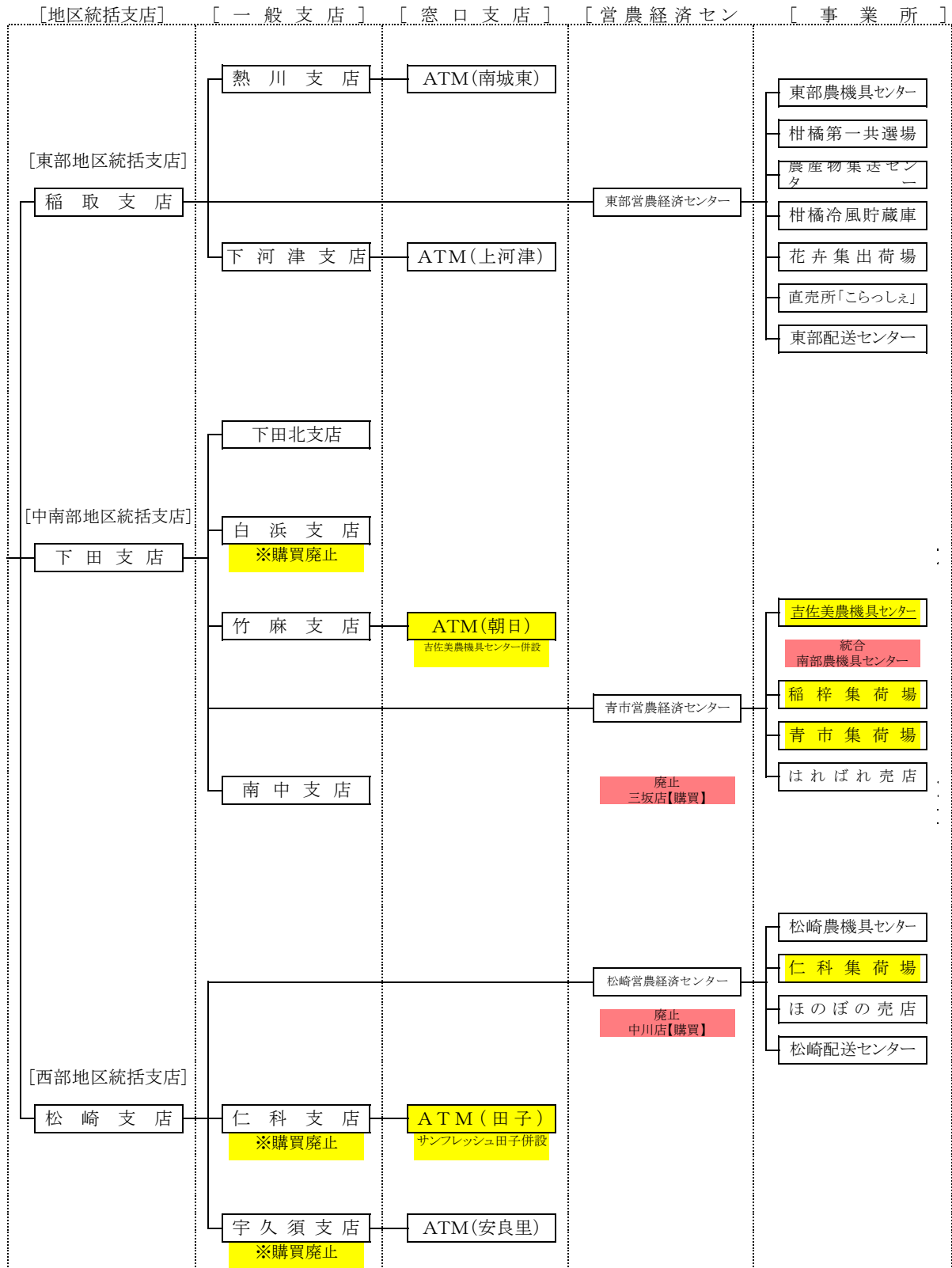
A T Mは、現在のサンフレッシュ田子（旧Aコープ田子店）に移設し営業します。 店舗については、解体します。

(4) 不採算A T Mの廃止検討について

利用数の少ないA T Mについて廃止を検討します。

機構図(支店・店・事業所)

令和4年4月1日変更



※下田北支店は、農薬のみ取扱。

7. 再編に伴う取扱い事業の変遷

地区	事業所名	令和元年度								令和2年度									
		金融		共済		購買		営農		金融		共済		購買		営農			
		信用	ATM	融資	共済	生産購買	生活購買	指導	販売(朝市含)	備考	信用	ATM	融資	共済	生産購買	生活購買	指導	販売(朝市含)	備考
東部	稲取支店	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○				
	熱川支店	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○		
	大川店【購買】					○	○		○					○	○		○	隔日営業	
	南城東支店	○	○	○	○	○	○		○	○	○		△	○	○		○	窓口支店	
	下河津支店	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○				
	見高浜店【購買】					○	○							○	○			隔日営業	
	上河津支店	○	○	○	○	○	○		○	○	○		△	○	○		○	窓口支店	
	東部営農経済センター							○	○								○	○	
	東部農機具センター					○								○					
中南部	下田支店	○	○	○	○				ATMは本店管轄	○	○	○	○					ATMは本店管轄	
	旧下田支店		○								○								
	稲梓支店	○		○	○	○	○			○			△	○	○			窓口支店	
	稲生沢支店	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○		
	白浜支店	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○				
	須崎店【購買】					○	○							○	○			隔日営業	
	朝日支店	○	○	○	○	○	○		○	○	○		△	○	○		○	窓口支店	
	竹麻支店	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○				
	南中支店	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○				
	南上店【購買】					○	○							○	○			隔日営業	
	三坂店【購買】		○			○	○				○			○	○				
	青市営農経済センター							○	○								○	○	
	中部農機具センター					○								○					
南部農機具センター					○								○						
西部	松崎支店	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○				
	岩科店【購買】					○	○							○	○			隔日営業	
	三浦店【購買】					○	○							○	○			隔日営業	
	中川店【購買】		○			○	○				○			○	○				
	仁科支店	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○		
	田子支店	○	○	○	○					○	○		△					窓口支店	
	大田子店【購買】					○	○							○	○				
	宇久須支店	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○		
	安良里支店	○	○	○	○					○	○		△					窓口支店	
	松崎営農経済センター							○	○								○	○	
	松崎農機具センター					○								○					
記載の説明				△掛金収納のみ	△農薬のみ	△購買米のみ							△掛金収納のみ	△農薬のみ	△購買米のみ				

令和3年度								令和4年度								事業所名		
金融		共済		購買		営農		金融		共済		購買		営農				
信用	ATM	融資	共済	生産購買	生活購買	指導	販売(朝市含)	備考	信用	ATM	融資	共済	生産購買	生活購買	指導		販売(朝市含)	備考
○	○	○	○					購買はセンターへ	○	○	○	○						稲取支店
○	○	○	○	○			○		○	○	○	○	○			○		熱川支店
								廃止									廃止	大川店【購買】
	○						○	共選場資材倉庫・女性部調理室		○						○	共選場資材倉庫・女性部調理室	南城東支店
○	○	○	○	○				購買変更	○	○	○	○	○					下河津支店
								廃止									廃止	見高浜店【購買】
	○						○	加工所にて使用		○						○	加工所事務所	上河津支店
				○	△	○	○	センター化					○	△	○	○	センター化	東部営農経済センター
				○				センター配下に変更					○					東部農機具センター
○	○	○	○					ATMは本店管轄	○	○	○	○					ATMは本店管轄	下田支店
	○									○								旧下田支店
								下田北支店に統合									下田北支店	稲梓支店
○	○	○	○	△				下田北支店へ移設	○	○	○	○	△					下田北支店
○	○	○	○	○	○				○	○	○	○					購買廃止	白浜支店
								廃止									廃止	須崎店【購買】
○	○		△					購買廃止		○			○				農機具センターへ変更	朝日支店
○	○	○	○					購買はセンターへ	○	○	○	○						竹麻支店
○	○	○	○					購買廃止	○	○	○	○						南中支店
								廃止									廃止	南上店【購買】
	○			○	○					○							購買店廃止	三坂店【購買】
				○	△	○	○	センター化					○	△	○	○	センター化	青市営農経済センター
				○				センター配下に変更					○				吉佐美農機具センターに移転	中部農機具センター
				○				センター配下に変更									吉佐美農機具センターに統合	南部農機具センター
○	○	○	○					購買はセンターへ	○	○	○	○						松崎支店
								廃止									廃止	岩科店【購買】
								廃止									廃止	三浦店【購買】
	○			○	○					○							購買店廃止	中川店【購買】
○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○					購買廃止	仁科支店
○	○		△					窓口支店		○							ATMサンフレッシュ田子店併設	田子支店
								廃止									廃止	大田子店【購買】
○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○					購買廃止	宇久須支店
	○							ATMサンフレッシュ安良里併設		○							ATMサンフレッシュ安良里併設	安良里支店
				○	△	○	○	センター化					○	△	○	○	センター化	松崎営農経済センター
				○				センター配下に変更					○					松崎農機具センター
			△掛金収納のみ	△農薬のみ	△購買米のみ							△掛金収納のみ	△農薬のみ	△購買米のみ				

8. 収支予測

マイナス金利等により、信連の利息が令和2年度0.53%、令和3年度以降0.49%となる事から、平成30年度と比べ約3億円の収益減少となります。

また、共済事業についても少子高齢化、人口減少により毎年4%程度収益が減少しています。

職員数についても、人員確保が難しいことから毎年20名程度減少していく見込みです。

単位：千円

支店名	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	店舗別収益			店舗別収益			減損収支		
	再編前	再編後	差異	再編前	再編後	差異	再編前	再編後	差異
稲取支店	-4,520	8,977	13,497	-12,155	6,413	18,568	-17,155	5,150	22,305
熱川支店	-2,809	15,183	17,992	-5,641	25,067	30,708	-10,641	14,242	24,883
※南城東支店	-7,265	-11,857	-4,592	-8,318		8,318	-13,318		13,318
下河津支店	10,114	29,717	19,603	409	40,124	39,715	-4,591	26,350	30,941
※上河津支店	-2,427	-3,865	-1,438	-3,040		3,040	-8,040		8,040
東部地区合計	-6,907	38,155	45,062	-28,745	71,604	100,349	-53,745	45,742	99,487
下田支店	35,682	36,309	627	25,250	27,176	1,926	20,250	23,395	3,145
稲梓支店	3,041	-3,033	-6,074	-2,036		2,036	-7,036		7,036
※稲生沢支店	-2,220	4,661	6,881	-2,932	20,577	23,509	-7,932	14,498	22,430
白浜支店	9,713	8,564	-1,149	4,514	3,387	-1,127	-486	5,838	6,324
南中支店	-1,045	6,655	7,700	-7,264	4,003	11,267	-12,264	1,509	13,773
竹麻支店	-12,027	8,951	20,978	-13,791	2,836	16,627	-18,791	14,006	32,797
※朝日支店	1,645	-1,510	-3,155	-1,896	-712	1,184	-6,896		6,896
中南部地区合計	34,789	60,597	25,808	1,845	57,267	55,422	-33,155	59,246	92,401
松崎支店	18,070	30,244	12,174	7,101	31,489	24,388	2,101	21,268	19,167
仁科支店	4,498	21,332	16,834	1,683	11,917	10,234	-3,317	30,427	33,744
※田子支店	-3,309	-5,964	-2,655	-6,182	-298	5,884	-11,182		11,182
宇久須支店	180	280	100	-4,534	5,751	10,285	-9,534	3,966	13,500
※安良里支店	-888	-295	593	-2,411		2,411	-7,411		7,411
西部地区合計	18,551	45,597	27,046	-4,343	48,859	53,202	-29,343	55,661	85,004
支店合計	46,433	144,349	97,916	-31,243	177,730	208,973	-116,243	160,649	276,892
農産加工所	-17,125	-18,063	-938	-17,125	-19,677	-2,552	-17,125	-20,506	-3,381
プロパンセンター	20,545	23,657	3,112	16,603	22,064	5,461	16,603	20,468	3,865
伊豆太陽葬祭	5,224	7,019	1,795	1,473	2,614	1,141	1,473	67	-1,406
福祉相談センター	-19,487	-21,164	-1,677	-19,487	-24,919	-5,432	-19,487	-26,376	-6,889
農協合計	37,389	135,889	98,500	-47,992	157,735	205,727	-134,779	134,300	269,079
職員数	327	309	-18	327	286	-41	327	275	-52

営農センターにかかる費用1億7千万円及び本店等直接配分できない共通管理費7億7千万円は各店舗に按分しています。

令和4年度については、新JASTEM導入に伴い各支店に費用500万円が加算されています。

参考資料) 店舗再編の必要性について

(1) 組合員資本とその活用方法について

J Aの貸借対照表の純資産の部には、組合員からお預かりしている出資金と、毎期の利益から積立した利益剰余金が計上されています。

平成30年度末現在で、J A伊豆太陽の組合員資本は、110億3,600万円あります。一方で、事業活動をするために必要な固定資産は、32億6,500万円、連合会等への外部出資金は63億900万円と、合計で95億7,400万円が使われています。また、日々の事業活動に必要な運転資金として、現金が9億円、購買品等の棚卸資産や未収金が3億円程度あり、農協が事業を行うために必要な資金としてほぼ全額が有効に活用されています。

このことから、利益準備金に計上される積立金とは、いわゆる地公体等の別段に積み立てている資金（預金等）ではなく、普段の事業に活用されている資金です。

(2) 利益計上の重要性について

これまでの事業活動で積み立てられた組合員資本があることから、例えば1億円の赤字でも100年は大丈夫と言った事が言われるときがあります。

しかしながら、現在の総合事業を継続するうえで、貯金者保護のため、J Aバンク（農林中金）による一定の経営基準（安定した経営や人員等の整備等）を満たす必要があります。

万一、このルールに違反した場合は、「**要改善 J A**」として指定を受け、改善命令が出されます。それでも改善しないときは、J Aバンクから外されてしまい、信用事業と共済事業が実施できなくなります。（これまでの例では、近隣 J A が事業を引き受けます）これにより、総合事業を行う J A から、専門農協になってしまい数年で債務超過（資本の部がマイナス）となることが想定されます。

貸借対照表

平成30年度（平成 31年 3月 31日現在）貸借対照表

科 目	資 産	金 額
(資産の部)		
1. 信用事業資産		178,758,352,873
(1) 現金		890,681,412
(2) 預金		141,310,908,568
系統預金	140,808,868,326	
系統外預金	502,040,242	
(3) 有価証券		11,953,846,625
社債	11,953,846,625	
(4) 貸出金		24,420,428,449
(5) その他の信用事業資産		277,657,912
未収収益	130,893,008	
その他の資産	146,764,904	
(6) 貸倒引当金		△ 95,170,093
2. 共済事業資産		3,729,566
(1) 共済貸付金		3,429,000
(2) 共済未収利息		76,520
(3) その他の共済事業資産		224,046
3. 経済事業資産		314,805,025
(1) 経済事業未収金		156,097,423
(2) 経済受託債権		24,075,724
(3) 棚卸資産		137,001,764
購買品	121,821,934	
その他の棚卸資産	15,179,830	
(4) その他の経済事業資産		1,260,000
(5) 貸倒引当金		△ 3,629,886
4. 雑資産		346,131,466
(1) 雑資産		346,164,869
(2) 貸倒引当金		△ 33,403
5. 固定資産		3,265,570,638
(1) 有形固定資産		3,265,033,529
建物	3,758,381,842	
機械装置	518,700,391	
土地	1,732,776,993	
建設仮勘定	4,856,400	
その他の有形固定資産	681,448,555	
減価償却累計額(控除)	△ 3,431,130,652	
(2) 無形固定資産		537,109
6. 外部出資		6,309,998,900
(1) 外部出資		6,309,998,900
系統出資	5,932,860,000	
系統外出資	351,345,000	
子会社出資	25,793,900	
資 産 の 部 合 計		188,998,588,468

(単位：円)

負債及び純資産	
科目	金額
(負債の部)	
1. 信用事業負債	175,947,798,819
(1)貯金	175,746,030,246
(2)借入金	78,047,741
(3)その他の信用事業負債	123,720,832
未払費用	13,522,412
その他の負債	110,198,420
2. 共済事業負債	561,698,663
(1)共済借入金	3,310,000
(2)共済資金	316,489,642
(3)共済未払利息	72,950
(4)未経過共済付加収入	241,009,622
(5)その他の共済事業負債	816,449
3. 経済事業負債	207,741,322
(1)経済事業未払金	184,171,996
(2)経済受託債務	23,569,326
4. 雑負債	424,290,268
(1)未払法人税等	32,655,102
(2)資産除去債務	10,632,443
(3)その他の負債	381,002,723
5. 諸引当金	372,127,906
(1)賞与引当金	38,200,947
(2)退職給付引当金	238,603,034
(3)役員退職慰労引当金	61,843,925
(4)解体損失引当金	33,480,000
6. 繰延税金負債	42,512,509
負債の部合計	177,556,169,487
(純資産の部)	
1. 組合員資本	11,036,910,717
(1)出資金	1,791,271,000
(2)資本準備金	524,148
(3)利益剰余金	9,252,439,069
利益準備金	3,556,500,000
その他利益剰余金	5,695,939,069
経営安定化積立金	105,000,000
施設整備積立金	122,000,000
農業振興対策積立金	250,000,000
災害対策積立金	140,000,000
特別積立金	4,654,188,000
当期末処分剰余金	424,751,069
(うち当期剰余金)	(133,832,851)
(4)処分未済持分	△ 7,323,500
2. 評価・換算差額等	405,508,264
(1)その他有価証券評価差額金	405,508,264
純資産の部合計	11,442,418,981
負債及び純資産の部合計	188,998,588,468